

申請者	氏名	黄 志芳
	所属・職	婦人科（腫瘍外科 B）・大学院生
出張期間	2011年 4 月 1 日 ～ 4 月 7 日	
渡航先	アメリカ合衆国・フロリダ州・オーランド市	
渡航目的	学会参加・共同研究のための留学・（ ）	
発表題目は 共同研究題目	Keap1 and Nrf2 genetic mutations and polymorphisms: Associations with clinical outcome in endometrial cancer.	
得られた成果など	<p>2011年4月2日から4月6日までアメリカのフロリダ州オーランド市の Orange County Convention Center において開催されるアメリカ癌学会に参加させていただき、報告いたします。</p> <p>今回子宮頸内膜腺癌 105 例において Keap1 遺伝子および Nrf2 遺伝子変異が見つかり、また Keap1 遺伝子多型（synonymous single nucleotide polymorphism: アミノ酸残基が変わらない DNA 多型）が無再発生存率の予測因子である可能性があるとしてポスター報告して参りました。ポスターに興味を持っていただいた各国の研究者と交流を深めることができ、有意義な討論もたくさん交わしました。</p>	
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>自らのポスター発表以外、婦人科腫瘍を念頭に置き、様々な講演、シンポジウムおよび他人のポスター発表も聞きました。また、近年 Keap1 はオートファジーの制御ネットワークにおける重要な node であると報告され、腫瘍とオートファジーの研究にも興味を持って勉強して参りました。</p> <p>AACR は研究者の間の交流を促進するため、様々なワークショップを主催しているので、私も4つのセッションに事前参加登録しました。最も印象に残ったのは「Getting your research published」および「Women in Cancer Research: Career Mentoring Session」でした。アメリカの諸大学の教授と食事をしながら、直接に会話することができたので参加した甲斐がありました。これらのワークショップは AACR メンバーに無料でしたが、非メンバーはセッション毎50ドルを支払わなければなりませんでした。</p> <p>5日間に渡る学会は極めて充実しており、忘れられない経験となりました。NM-GCOE が与えて下さった学会参加の機会に心より感謝しております。</p>	